

ばい煙関係施設設置 ~~（変更）~~ 届出書

不要な記載を訂正線で消してください。

〇〇年〇〇月〇〇日

提出日を記載してください。

青森県知事 殿

工場長等の代表者以外の者が届出者となる場合は、委任状等の届出の権限を有することが分かる書類を添付してください。

届出者

〒〇〇〇-〇〇〇〇
青森県××市〇〇町□-△
〇〇株式会社 代表取締役 青森太郎
(TEL: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

青森県公害防止条例第19条第1項 ~~（第20条第1項）~~ の規定により、ばい煙関係施設の設置 ~~（変更）~~ について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	青森株式会社青森工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	××市〇〇町□-△	※受理年月日	
ばい煙関係施設の種類	廃棄物焼却炉	※施設番号	
ばい煙関係施設の構造	別紙1のとおり	※審査結果	
ばい煙関係施設の 使用の方法	別紙2のとおり	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり		

- 備考
- ※印の欄には記入しないこと。
 - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4縦長とすること。

施設の種類ごとに通し番号を付して記載してください。追加又は更新する場合は、過去に届出した番号と重複しないようにしてください。

例えば、既設の1号、2号のいずれか又は両方が届出後に廃止され、新たに施設を設置する場合は、3号からの通し番号になります。

なお、当該施設に届出者側の固有番号がある場合で、今後の管理等のために届出上の通し番号との関係を明確にしておきたい場合は、通し番号とは別に（ ）書きで固有番号を併記してください。

別紙1

ばい煙関係施設の構造

工場又は事業場における施設番号		廃棄物焼却炉3号 (WI-1)	
名称及び型式		〇〇工業 □□-△△	
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日	備考1参照 日
使用開始予定年月日		〇〇年 〇〇月 〇〇日	年 月 日
規	火格子面積 (㎡)	火格子がある場合は、その面積を記載してください。	
模	焼却能力 (kg/h)	150	メーカーの仕様書等に記載された最大の焼却能力を記載してください。

備考 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 ばい煙関係施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4縦長の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙関係施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		廃棄物焼却炉 3号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～ 24時 14時間/回 1回/日22日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動	通年			
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類	木くず90%、紙くず10%		備考1参照 混焼の場合など欄に書ききれない場合は、別紙参照と記載して別紙を添付してください。	
	原材料中の成分割合 (%)	灰分 0.3wt%	硫黄分 0.4wt%		
	1日の処理量 (トン)	2.1			
燃料	種類	灯油		燃料の成分成績表の値を記載してください。	
	燃料中の成分割合 (%)	灰分0.00wt%	硫黄分0.008wt%		
	発熱量	46.5 MJ/kg(高)		高位(又は総)発熱量を記載してください。	
	使用量 (l/h)	定格 10	通常 10	定格 通常	
	混焼割合			燃焼能力の値等から燃焼計算書を作成し、0℃、1気圧での時間当たりの体積を記載してください。 「最大」は定格時、「通常」は「燃料」欄の通常の使用量時です。	
排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 1676	通常 1676		
	乾き	最大 1571	通常 1571		
排出ガス温度 (°C)		600			
排出ガス中の酸素濃度 (%)		12		備考2、3参照 いおう酸化物については、燃焼能力、燃料の成分成績表などから計算した値を記載し、計算書(燃焼計算書)を添付してください。 ばいじんについては、メーカー保証値、同型施設の測定値、諸元からの計算値などを記載し、根拠となる資料を添付してください。	
ばい煙の濃度	ばいじん (g/Nm ³)	最大 0.40	通常 0.40		
	硫黄酸化物 (容量比ppm)	最大 267	通常 267		
ばい煙量	硫黄酸化物 (Nm ³ /h)	最大 0.42	通常 0.42		
参考事項					

- 備考 1 原材料及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

処理施設の種類ごとに通し番号を付して記載してください。追加又は更新する場合は、過去に届出した番号と重複しないようにしてください。例えば、既設の1号、2号のいずれか又は両方が届出後に廃止され、新たに処理施設を設置する場合は、3号からの通し番号になります。

別紙3

ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号		煙突 3 号			
処理に係るばい煙関係施設の工場又は事業場における施設番号		廃棄物焼却炉 3 号			
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式		煙突			
設置年月日		年 月 日		年 月 日	
着手予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日	備考 1 参照	月 日	
使用開始予定年月日		〇〇年〇〇月〇〇日		年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm ³ /h)	最大			
		通常			
	排出ガス温度 (°C)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度 ばいじん (g/Nm ³)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度 いおう酸化物 (容量比ppm)	処理前			
		処理後			
	ばい煙量	最大	処理前		備考 2 参照 煙突のみの場合は記載不要です。
			処理後		
通常		処理前			
		処理後			
捕集効率 (%)	ばいじん				
	いおう酸化物				
使用状況	一日の使用時間及び月使用日数等	時～ 時 時間/回 回/日 日/月		時 ～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
排出口の実高さ Ho (m)			12.9	地盤面 (GL) からの高さを記載してください。	
補正された排出口の高さ He (m)			12.9	備考 3 及び燃焼計算書を参照し、補正された高さを記載してください。笠が付いている場合は Ho=He になります。	
排出速度 (m/s)			7.6		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日
には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さHeは、青森県公害防止条例施行規則第4条第2項の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

「参考事項」は規則に定められた様式ではありませんが、審査又は立入検査時等に活用しますので提出にご協力ください。なお、「緊急時連絡先」は、規則に定められている事項です。

参 考 事 項

◎事業場

(フリガナ) 工場・事業場名	アオモリカブシキガイシャ アオモリコウジョウ 青森株式会社 青森工場	施設名	廃棄物焼却炉3号
業種(産業分類コード)	廃棄物処理業 (中分類 88)		
担当部署・担当者名	施設課 ○○△△	TEL	××-××-××
		FAX	××-××-××
緊急時連絡先	担当部署 施設課 担当者 ○○△△	TEL	××-××-××
		FAX	××-××-××
施工業者等連絡先	株式会社○○設備	TEL	××-××-××
		FAX	××-××-××

◎施設

項 目	数 値 等	
使用する燃料	A重油・ 灯油 ・その他 ()	木くず ・タイヤ・その他 ()
最大燃焼能力	10 (L/h・m ³ /h) ※液体燃料は L/h、気体燃料は m ³ /h	150 (kg/h・t/h) 固体燃料は kg/h 又は t/h
燃料の比重	0.798	
いおう分	0.008 (%)	0.4 (%)
バーナーの空気比	2.33	空気比=21 / (21-排出ガス中の酸素濃度 (%))
最大排出ガス量	湿りガス 1,676 (Nm ³ /h)	乾きガス 1,571 (Nm ³ /h)
排出ガス温度	600 (°C)	
煙突	使用形態	単独使用 ・ 共用 (号と共用)
	傘	有り (陣笠 ・フード・H形) ・ 無し
排出口	形状	丸型 (直径 0.5 m ÷ 2) ² × 3.14 = 0.196 m ²
		角型 m × m = m ²
	高さ	12.9 (m)
測定口	位置	屋内・ 屋外 高さ 4.0 m
	足場	有り・ 無し
ばい煙処理施設の有無	バグフィルター・サイクロン・その他 ()・ 無し	
備考(変更内容等)	煙突以外のばい煙処理施設を設置している場合は、該当施設に○を付けてください。	

添付書類として必要な内容が記載されているのであれば、複数事項が同一の書面又は図面に記載されていてもかまいません。

《 添付書類 》

添付書類		書類の内容・説明	備考
1	ばい煙関係施設及びばい煙処理施設の設置場所に関する書類		規則第5条第3項第2号
	①	事業場の案内図	地図上での事業場の位置がわかるもの
	②	事業場の平面図	事業場内での施設の設置場所がわかるもの
	③	施設の配置図	施設の設置場所での施設配置がわかるもの
2	ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要に関する書類		規則第5条第3項第3号
3	ばい煙関係施設の構造等に関する書類		別紙1/備考3
	①	仕様書又はカタログ等	燃焼能力、火格子面積がわかるもの
	②	施設の構造図	構造概要図で主要寸法がわかるもの
4	排出口から大気中に排出される「ばい煙量」、「ばい煙濃度」に関する書類		条例第19条第2項
	①	原材料又は燃料の成分成績表	組成、いおう分、発熱量等
	②	いおう酸化物に関する燃焼計算書	排出ガス量、補正された排出口の高さHe、排出ガス速度等が記載され、排出されるいおう酸化物の量が排出基準に適合することがわかるもの
	③	ばいじん、窒素酸化物等の最大排出濃度を示した書面	メーカー保証書、同型施設の測定値、諸元からの計算値等
5	ばい煙の排出の方法に関する書類 (煙道に排出ガスの測定箇所が設けられている場合は、その場所を示す書類)		規則第5条第3項第1号 (規則第5条第3項第4号)
	ア	煙突のみの場合	
	①	煙突の構造図	地盤面 (GL) からの煙突高さや煙突の内径等の主要寸法、陣笠等の有無・その形状がわかるもの
	②	煙道図	ばい煙関係施設から煙突までの煙道経路がわかる図面 (ばい煙測定口の位置等明記)
	イ	ばい煙の処理施設 (煙突以外) がある場合	
		ア①②の他に	
③	施設の仕様書又はカタログ等	ばい煙の処理方法、処理能力がわかるもの	
④	施設の構造図	主要寸法がわかるもの	別紙3/備考4